

テーマ：観光（実践校）

オホーツク管内 網走市立呼人中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとへの愛着と誇りを育むため、呼人地域の観光資源である美しい自然等を学び、地域について理解を深めるとともに、「ふるさと呼人」のよさを多くの人に伝える活動を通して、地域の教育資源を生かした観光づくりについて探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

呼人地域の観光資源の中から、網走湖に関する内容を中心に学習しました。生徒の興味や関心からテーマを絞り、「豊かな環境の網走湖を多くの人に伝えよう」という課題を設定しました。

(2) 情報の収集

体験観光施設コネクトリップのガイドリーダーによる呼人の自然についての講話、カヤックに乗った網走湖散策、呼人半島での草花の観察等の体験的な活動を通して、情報を収集しました。

(3) 整理・分析

カヤック体験や講話で学んだこと、質問したことを基に、インターネットを活用した調べ学習によりテーマについて整理し、呼人のよさについて理解を深めました。

(4) まとめ・表現

学んだことをGoogle スライドを活用してまとめ、発表を通して、鳥・魚・花・アイヌ文化等について理解を深め合いました。発表したスライドは学校のWeb ページに公開し、より多くの人にふるさと呼人地域の素晴らしさを伝えました。

②児童の感想等

- ・アイヌ文化について、自分の知らないことばかりで調べるのが楽しかったです。網走湖のことが、前より好きになりました。
- ・興味をもって楽しく調べることができました。北海道と網走に深い愛情をもつことができました。
- ・調べていくうちに、呼人地区について理解を深めることができました。また、自分たちが体験したことを、より多くの人に体験してほしいと感じました。
- ・網走湖にはとてもおもしろい花が咲いていることにびっくりしました。また、一つの湖だけで色々な見え方があっておもしろかったです。



【講話の様子】



【カヤック体験の様子】



【生徒の発表の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- 観光に関するアンケートで「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が25%から75%に、「自分の住んでいる地域の観光や産業についてもっと調べたいと思う」と回答した生徒の割合が25%から50%に増加するなど、自分たちの住んでいる地域について興味・関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着と誇りを育むことができました。
- 地域の教育資源（施設・人材）を活用して教育活動を推進することにより、生徒にとって体験的で専門的な学びの機会となり、地域連携や社会に開かれた教育課程の大切さを改めて実感しました。
- 子どもたちが、より一層地域の観光資源や文化等に興味関心を持ち、主体的に活動できるよう、生徒の探究意欲を喚起する学習過程の構築を図る必要があります。